

平成26年5月26日

明石公園サクラ剪定樹勢回復作業 報告

(一社)兵庫県造園建設業協会
技術委員会 中井 堅

1. 日 時 平成26年3月29日、4月23日
2. 場 所 明石公園本丸エリア、東野丸エリア
3. 作業概要 明石公園内のサクラの外観調査をおこない、早期処置木を選択し、明石園芸公園協会に寄付作業を申し入れ、樹勢衰退サクラ4本の枯損枝切除、樹勢回復処置をおこなった。
3. 参加者 佐伯、金岡、津田、有田
4. 樹勢回復等内容

1)外観調査、根系調査

- ・大径枝の枯損あり、新枝の生長不良、及びH30cm下部固結粘質砂土土壤 樹勢不良
- ・大径枝、幹に木材腐朽菌(キノコ)着生 一部折損の危険性あり

サクラ① H10.0m、C1.81m



大径枝の枯損あり、主要枝少なく樹勢不良。大径枝にスエヒロタケ着生、折損の危険性大。

サクラ② H7.0m、C2.03m



枯下りが続き、枝張りの樹形不良、有効土層H30cmで、下部が固結粘質砂土基盤土壌

サクラ③ H7.0m、C2.38m



樹高生長不良、主要根の分布浅い(~H30cm)。固結粘質砂土で根系の発達不良

サクラ④ H9.0m、2.01m



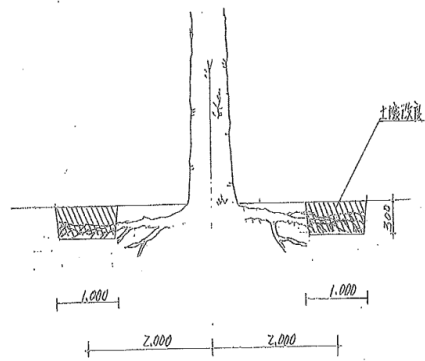
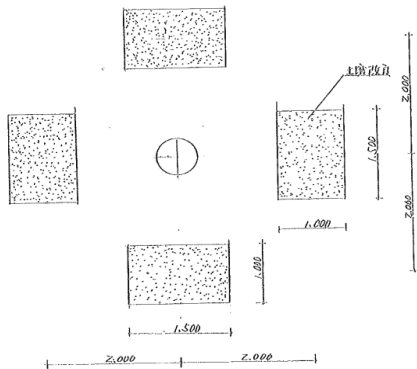
大径の枯損枝あり、主要枝少なく樹勢不良。カワウソタケ除去防腐抑制処置望ましい。

2) 樹勢回復処置

枯下りが続き、新枝の生長緩慢等の樹勢不良改善処置として、根系の発達を促進させる土壤改良をおこなった。

◇ 土壤改良仕様

- ・根元直系の約6倍の円周上の根系を発達させる。
- ・土壤改良深さは文化財保全規制からH30cmとし、1.5m × 1.0m × 4ヶ所の施工範囲とした。
- ・土壤改良材はバーク堆肥の有機質改良材を多用し、土壤の固結防止、保水性を高める無機質改良材を選択した。
- ・改良材配合比 バーク堆肥：イソライト：赤玉土：現況土＝25：10：5：60



◇ 施工状況



改良材充填状況



床掘状況(エアースコップ)